

—みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜—

# 横浜みどりアップ計画の評価・提案

## 骨子案

横浜みどりアップ計画市民推進会議 2020 年度報告書

横浜みどりアップ計画市民推進会議

2021 年 ○月



## 目 次

1	はじめに .....	1
2	横浜みどリアップ計画と市民推進会議 .....	2
	(1) 横浜みどリアップ計画	
	(2) 横浜みどリアップ計画市民推進会議	
3	市民推進会議 2020 年度の活動実績 .....	5
	(1) 2020 年度の活動の概要	
	(2) 活動の詳細内容	
	①市民推進会議（全体会議）	
	②施策別専門部会	
	③広報・見える化部会	
	④調査部会（現地調査）	
4	施策ごとの評価・提案 .....	14
	◆計画の体系	
	◆各計画の柱のハイライト	
	◆評価・提案の概要	
	(1) 計画の柱 1 市民とともに次世代につなぐ森を育む .....	19
	施策 1 樹林地の確実な保全の推進	
	施策 2 良好な森を育成する取組の推進	
	施策 3 森と市民とをつなげる取組の推進	
	(2) 計画の柱 2 市民が身近に農を感じる場をつくる .....	28
	施策 1 農に親しむ取組の推進	
	施策 2 地産地消の推進	
	(3) 計画の柱 3 市民が実感できる緑や花をつくる .....	37
	施策 1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進	
	施策 2 緑や花に親しむ取組の推進	
	(4) 効果的な広報の展開 .....	45
	市民の理解を広げる広報の展開	
5	市民推進会議委員名簿 .....	50
6	市民推進会議委員からのコメント .....	53
7	市民推進会議広報誌「Yokohama みどリアップ Action」(2020 年度発行分) ...	54

## 1 はじめに

進士先生  
メッセージ

横浜みどりアップ計画市民推進会議  
座長 進士五十八

## 2 横浜みどりアップ計画と市民推進会議

### (1) 横浜みどりアップ計画

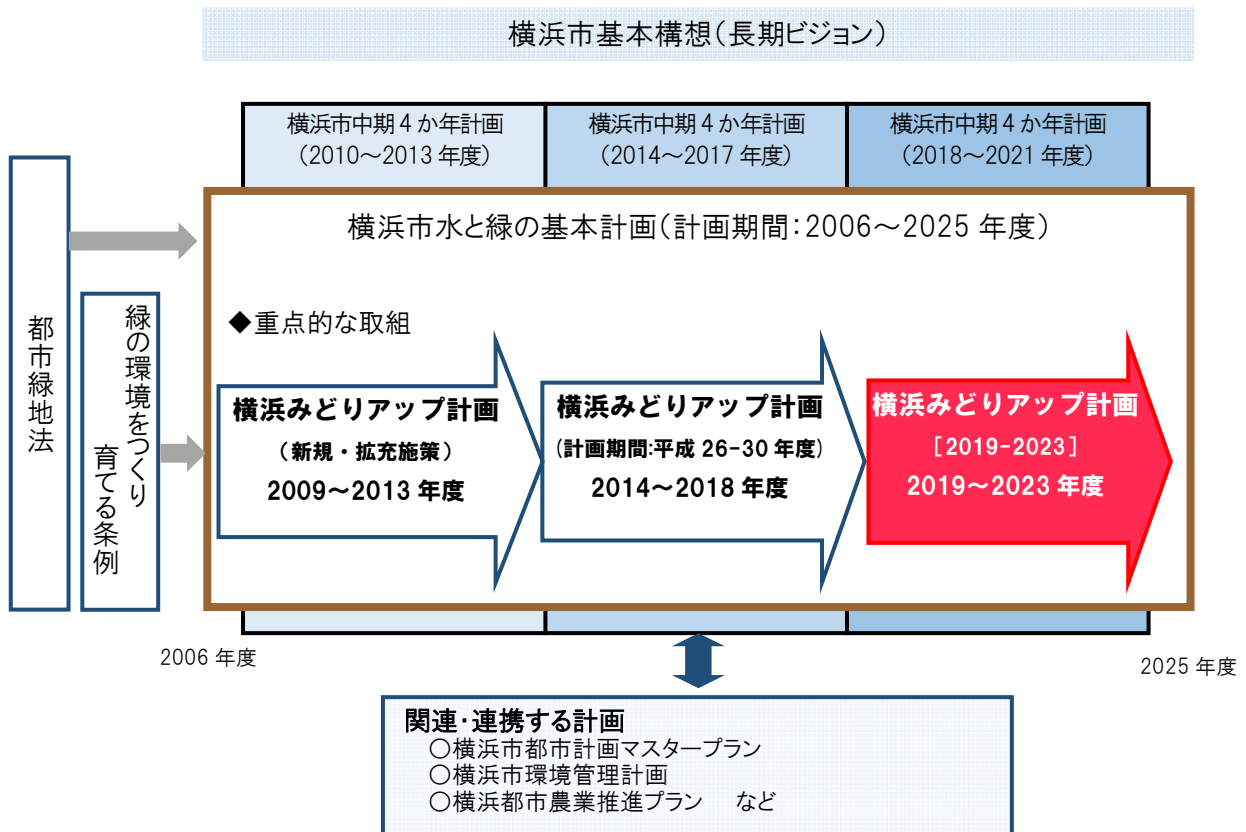
#### ①位置付け

横浜市は、大都市でありながら、市民生活の身近な場所にまとまった規模の樹林地や農地などがあり、また、起伏に富んだ地形から、変化に富んだ水や緑の環境を有しています。この緑の環境を生かし、次世代へ引き継いでいくため、市は2025年度を目標年次とした「横浜市水と緑の基本計画」を2006年に策定し、計画に基づき長期的な視点から「横浜らしい水・緑環境の実現」に向けた取組を展開しています。

1期目となる「横浜みどりアップ計画(新規・拡充施策)」は、2008年度までの取組を強化・充実するための2009年度から2013年度までの5か年の事業計画として策定されました。また、「横浜みどり税」は、取組を進めるための重要な財源として2009年度から導入されました。

緑の保全や創造は長い時間をかけて継続的に取り組むことが重要であることから、2期目となる「横浜みどりアップ計画」(計画期間:平成26-30年度)が策定されました。

さらに、2期目の取組の成果や課題、市民意見募集結果などを踏まえ、3期目となる「横浜みどりアップ計画[2019-2023]」が策定されました。



【図】横浜みどりアップ計画[2019-2023]の位置付け

## ②横浜みどりアップ計画[2019-2023]の構成

2019年度より、3期目の「横浜みどりアップ計画」に基づき、「みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜」を理念とし、5か年の目標を設定しました。目標の実現に向け、横浜みどりアップ計画では、「市民とともに次世代につなぐ森を育む」「市民が身近に農を感じる場をつくる」「市民が実感できる緑や花をつくる」を3つの柱とした取組と効果的な広報を推進しています。

### 計画の理念 みんなで育む みどり豊かな美しい街 横浜

#### 5か年の目標

##### 1 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します

緑地保全制度による指定が進むことで樹林地の担保量が増加、水田の保全面積を維持、市街地で緑を創出する取組が進展 など

##### 2 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます

森の保全面積など緑の多様な機能や役割を発揮する取組の進展、緑や花の創出により街の魅力・賑わいが向上 など

##### 3 市民と緑とのかかわりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

森に関わるイベントや農作物の収穫体験、地域の緑化活動など、市民や事業者が緑に関わる機会が増加 など

#### 計画の柱 1

##### 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森(樹林地)の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

#### 計画の柱 2

##### 市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

#### 計画の柱 3

##### 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。



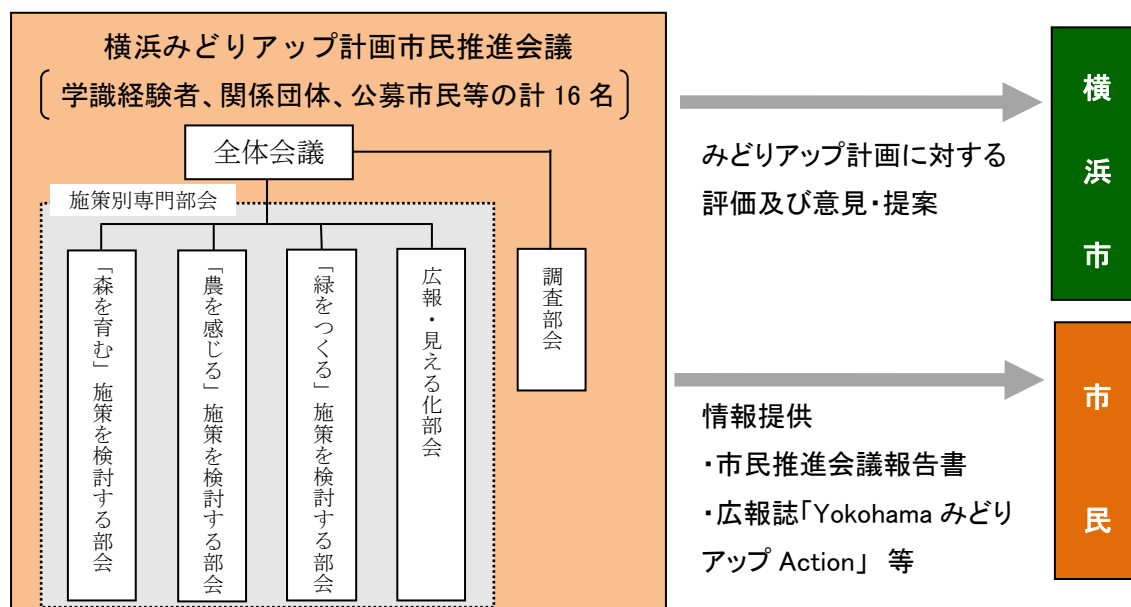
#### 効果的な広報の展開

## (2) 横浜みどりアップ計画市民推進会議

横浜みどりアップ計画市民推進会議は、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民への情報提供等を行うことを目的として、2009年に設置され、2012年からは条例設置の附属機関に位置付けられました。これまでに全体会議や施策別専門部会の開催に加え、参加市民を公募したオープンフォーラムや現地調査を実施し、市民意見の聴取にも努め、計画の評価・提案を行ってきました。

みどりアップ計画を推進するうえで、市民推進会議のこのような取組は大きな役割を果たしており、3期目のみどりアップ計画についても、継続して活動することとなりました。

2019年度からは新たな委員も含め、学識経験者や関係団体、町内会・自治会代表、公募市民の計16名で活動しています。（50頁に委員名簿を掲載）



横浜市附属機関設置条例第2条第2項本文：

附属機関(※)の担任する事務は、別表担当事務の欄に掲げるとおりとする。

別表(抜粋)

執行機関	附属機関	担当事務	委員の定数
(中 略)			
市長	横浜みどりアップ計画市民推進会議	横浜市域の樹林地及び農地の保全並びに緑化の推進を図ることを目的とする横浜みどりアップ計画に係る施策及び事業についての情報提供、評価等に関する事務	20人以内
(以下省略)			

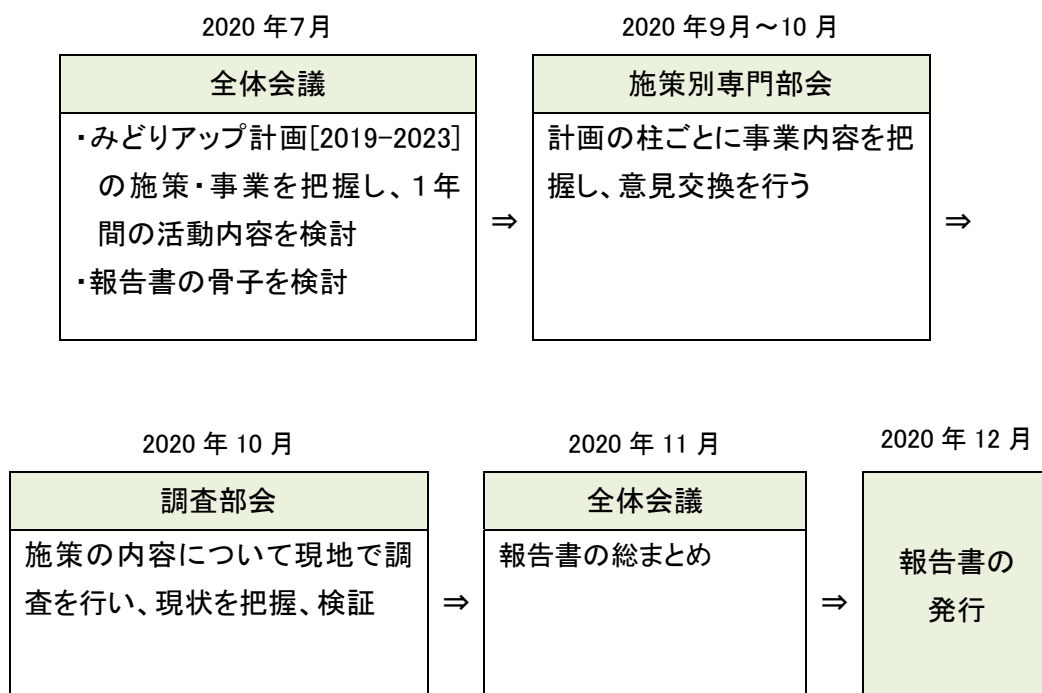
※附属機関とは、法律又は条例に基づき設置する機関で、市長等の執行機関の要請により、行政執行のために必要な審査、審議、調査等を行うことを職務とする機関。

### 3 市民推進会議 2020 年度の活動実績

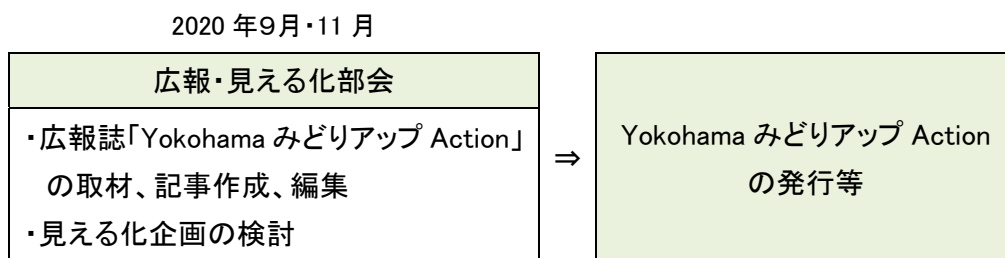
#### (1) 2020 年度の活動の概要

市民推進会議の主な活動は、「みどりアップ計画に対する評価及び意見・提案」と「市民への情報提供」の2つです。

##### ① みどりアップ計画に対する評価及び意見・提案



##### ② 市民への情報提供





## (2) 活動の詳細内容

### ① 市民推進会議(全体会議)

市民推進会議の全体会議において、部会の構成や調査の実施など年間の活動内容を確認し、横浜みどリアップ計画の内容、進捗状況について説明を受けて、質疑応答、意見交換を行いました。

#### 第 32 回市民推進会議(2020 年7月 20 日)

- ・横浜みどリアップ計画の進捗状況について
- ・市民推進会議 2019 年度報告書について



#### 第 33 回市民推進会議 (2020 年 11 月 17 日)

- ・横浜みどリアップ計画 2019 年度の事業実績について
- ・市民推進会議 2019 年度報告書(案)について
- ・市民推進会議 2021 年度の取組について

### ② 施策別専門部会

計画の柱ごとに施策別専門部会を設置し、事業分野ごとに、詳細に説明を受け、意見交換を行いました。

※2014 年度からは「広報部会」、「見える化部会」を合わせ、「広報・見える化部会」を設置しているため、「効果的な広報の展開」事業に対する評価・提案については、「広報・見える化部会」にて実施しています。

#### (ア) 「計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む」について

##### 第 13 回「森を育む」施策を検討する部会(2020 年 10 月8日)

- ・「森を育む」施策の評価・提案について



(イ) 「計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる」について  
第13回「農を感じる」施策を検討する部会(2020年10月14日)

- ・「農を感じる」施策の評価・提案について



(ウ) 「計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる」について  
第13回「緑をつくる」施策を検討する部会(2020年10月20日)

- ・部会長の選任について
- ・「緑をつくる」施策の評価・提案について



### ③ 広報・見える化部会

2014年度からは「広報部会」、「見える化部会」を合わせ、「広報・見える化部会」を設置しているため、施策別専門部会としてみどりアップ計画の広報について評価・提案を行うとともに、みどりアップ計画やみどり税についての情報提供のあり方の検討や広報誌の編集を行っています。

広報誌「YokohamaみどりアップAction」では、みどりアップ計画の取組が進んでいる現場を取材した上で、緑の魅力をいかに伝え、「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような内容とするために毎号議論を重ね、市民目線の現場レポートを作り上げています。2020年度は第3～4号を発行しました。駅及び主要な公共施設のPRボックスや、各区役所・土木事務所・公園緑地事務所等の公共施設で配布するとともに、市のホームページでも公開しています。

#### 第45回広報・見える化部会(2020年9月2日)

- ・「効果的な広報の展開」事業の評価・提案について
- ・みどりアップ Action 第3号、第4号について
- ・見える化企画案について



#### みどりアップ Action 第3号取材(2020年9月16日)

- ・テーマ：オープンガーデン（港北区 園芸ボランティアみらい）

第 46 回広報・見える化部会(2020 年 11 月 18 日)

- ・みどりアップ Action 第 3 号原稿案について
- ・みどりアップ Action 第 4 号記事内容について



みどりアップ Action 第4号取材(2020 年 11 月 18 日)

- ・テーマ：市民の森（緑区 長津田宿(ながつたしゆく)市民の森)

2020 年度に発行した「Yokohama みどりアップ Action」

○ YokohamaみどりアップAction 第 3 号

《発行月》 2021年2月

《発行部数》 21,000部

《テーマ》 オープンガーデン

(港北区 園芸ボランティアみらい)



**「緑」と「花」でつながる仲間の絆！**

「新吉田地域ケアプラザ」で 18 年もの長い年月に渡り活動を続けてきた「園芸ボランティアみらい」の皆さん。花のお手入れを通じて大人の仲間づくりを楽しむ、そんな皆さんの笑顔溢れる素敵なお庭に訪れてみませんか。

《委員コメント》

〇〇

○ YokohamaみどりアップAction 第 4 号

《発行月》 2021年3月

《発行部数》 21,000部

《テーマ》 市民の森

(緑区 ながつたしゆく 長津田宿 市民の森)



**「市民の森」、聞いたことはありますか？**

どこかで聞いたことがあるような、ないような。今号では市民の森を簡単・コンパクトにご紹介します。Action4号を片手に、森の楽しみ方を見つけに行ってみませんか？

《委員コメント》

〇〇

※報告書末尾に「Yokohama みどりアップ Action」を添付しています。

#### ④ 調査部会(現地調査)

##### <第20回調査部会>

日 時 2020年10月30日(金) 午後1時15分～午後5時

参加者 委員11名

調査場所 舞岡ふるさと村 虹の家(戸塚区)、  
環状2号線(港南区上永谷地区)の街路樹、  
桜の丘をはぐくむ会(戸塚区)

##### (ア) 森と農を市民につなげ、親しむ取組の現場を調査(舞岡ふるさと村 虹の家)

戸塚区の舞岡ふるさと村の水田を中心とした谷戸景観を視察しました。また、虹の家の館長から、ふるさと村のこれまでの経緯や現在の活動状況などについて説明を受けました。



谷戸景観を視察している様子



ふるさと村の説明を受けている様子

##### <委員の感想や主な意見>

- タイムスリップをしたような里山の原風景が広がり、社や水路なども整備されて横浜市内とは思えない癒される景観でした。また、単なる風景だけでなく、実際に農業や牧畜が営まれ、生産された野菜や加工肉などの販売所を設けて事業としていることも良い仕組づくりだと思いました。
- ふるさと村では、歴史的背景や実際の動植物の標本、写真から生態系が維持されている様子がよくわかりました。「虹の家」は、地域の理解や都市での「農」の重要性を現地で知るための施設だと思いました。今後も多くの人に展示と共に説明も続けていただき、残された里山の理解者を増やしていただくことを期待します。
- 市民のふれあい研修の場所として、多くの市民の方々に利用されていると聞きました。地域の歴史を検証、学ぶために多種多様な農具、日常生活民具、動植物の標本保存等のすばらしい勉学の場を提供されていることは非常に有意義なことと思いました。

- 農業を続けたい農家さんのエネルギーがこの舞岡ふるさと村発足の原点とのこと。  
良好な農景観が醸し出すこの地域は、市民にとっても農に親しむ場として、これからも続いて欲しいと感じました。
- 都市の中で良好な水田や森が維持、保全されていることが、現代社会の中でみどりアップ事業として今後も末永く維持管理されることを希望します。
- 駅前の直売所、ハム工房、高設イチゴハウス、トマト温室、奨励金を出している水田、舞岡八幡（彼岸花）、虹の家は、舞岡のゴールデンルートでみどり税を財源とする施策が展開されているところですが、オフシーズンでの見学だったので実感できなかったのは残念です。直売所等の一角に地場産品を味わえる農家レストランが欲しいところです。ふるさとの森を周遊散策するのも舞岡の農景観を実感できるかもしれません。
- 食事ができる店があると良いと思います。
- みどり税により保全された水田を中心とした農景観を身近に感じました。
- 横浜市中心部からのアクセスが良く、恵まれた自然が残された環境は、今後も市民へ広くアピールしてもらいたいです。
- JAの関連施設（「ハマッ子」直売所 舞岡や）が存在し、周囲の環境、利用状況は知っていましたが、改めてふるさと村の活動状況や経緯や聞くことができ、とても参考になりました。
- 市民の森、公園、緑地、ふるさと村など異なる制度を組み合わせることで広い緑地を保全できていて素晴らしいと思いました。
- 素晴らしい空間として維持されていると思います。しかし、そのためにも「人手」が今後も確保されないと、樹林地や農地があっても、その景観が変わっていくのかもしれない。
- 竹林や小川、田んぼなど昔ながらの景観を見ることができ、和みました。
- 自然の風景を残す努力を続けることは、皆さんの熱意と協力する力が大事だと思いました。
- 手入れをするのは大変なのだと実感しました。
- 小川アメニティがきれいでした。

## (イ)街路樹が良好に管理されている現場を調査(環状2号線 上永谷地区)

環状2号線の上永谷地区の良好に管理されている街路樹を車窓から見学し、事業説明を受けました。



環状2号線の街路樹の様子

### <委員の感想や主な意見>

- 自然樹形の剪定となるより、作業前の計画と作業後の現場視点の申し送りを記録に残す方式は、街並み景観に大きく寄与することとして高く評価します。全市での展開を期待します。
- 片側3車線の車道に加え歩道も広い上永谷から東戸塚に向かう環状2号線の沿道には大きなケヤキなどが違和感なく並んでいます。その景色は、ドライバーや歩道を歩く人に緑豊かな横浜を感じさせ、穏やかで好ましい雰囲気を与えているようです。
- 環状2号線の街路樹を見学させていただき、植樹の配置、剪定技術等、非常に素晴らしいと思いました。しかし、樹木は日々成長していますので、景観を損なわない範囲で大胆な整枝、剪定が必要になってくると感じました。予算的なことがあると思いますが、欲を言えば出来るだけ極端に放任的に大きくせず、こまめな整枝剪定が望まれます。
- ケヤキのような大木は道路に面しているとなおさら維持管理が大変だと思いました。
- 上永谷のイチョウの形が良かったです。樹形を考えた剪定を全道路で行っていただきたいです。

#### (ウ) 市民と連携した緑のまちづくりを行っている現場を調査(桜の丘をはぐくむ会)

戸塚区前田町で市民との協働により緑化を進めた現場を見学しました。取組を進めた桜の丘をはぐくむ会の方々から、緑化計画や活動の概要、感じている課題などについて説明を受けました。



桜を視察している様子



活動状況等の説明を受けている様子

#### <委員の感想や主な意見>

- マンション建設前からの樹木の維持管理に住民の皆さんが関心を寄せていました。老木の更新や、急傾斜の崖地での隅々までの綿密な見直しのほか、新たな樹林や草、花の植栽など、工夫を凝らした敷地内のみどりの再生計画でした。
- 市内の隠れた桜の名所であり、私自身も毎年、電車から見える風景を楽しませていただけていました。
- 行政とマンション住民がバランスよく融合した事例と判断でき、今後も持続可能な環境整備を目指してもらいたいです。
- 維持管理も自分たちができる内容を精査して経費、労力もなるべくかからないよう、楽しみながら緑を創造している姿勢が伺えました。世帯数が多いマンションで、敷地も広いので纏められるのは大変かとも思いますが、更に活動を広げて地域のみどりを残し、育てていただきたいと思いました。
- マンションばかりでなく、地域の自治会と共に交流して地域のコミュニケーションのみどりを取り持っているようでした。
- マンション管理組合と自治会、住民有志による植栽活動サークルである愛護会組織、そして土木事務所も協力しているとのことで、堂屋敷公園や協定緑地の雑木林がうまく管理されているのを感じました。課題もあるようですが、住民に親しまれる花と緑がうまく続いて行ってほしいと思いました。
- 地域にあった樹林を自分たちで植えて管理しているのは、素晴らしいことです。高層マンションのモデルになると思います。大規模マンション建設の際に、提示してこのような形が広がると良いと思いました。
- リーダーの方々の緑に対する熱い思いが感じられました。

- みどりの会の皆さんが、とても積極的に活動されているのがわかりました。お話をされた皆さん、とても生き生きとしていました。
- どんぐりや自家採取された種から苗を住民の方が育てているのは素晴らしいと思います。みどりアップで支援した甲斐があると感じました。マンションの住民が元気に挨拶してくれたのも印象的でした。
- 3年間の予算があるうちは事業のカタチがみえやすいと思いますが、やはりその予算がなくなった後、どのくらい地域での取組が続くのか「人が育つか」が課題となるように感じました。実際「会」の方々もそのように理解されている様子が伺えました。各地域でのフォローアップがみえるといいかなと思いました。
- 桜の丘は、743戸の大規模マンションが林地する斜面林、元あった桜の大木、二つの公園での緑化を実現した「地域緑のまちづくり事業」を展開したところです。事業終了後、初めての見学でしたが、花が咲き乱れる時期ではないにもかかわらず、在来種のタネや挿し木などを地道に育成する熱意が継続していること、みどりの会として再出発しているが、担い手の広がりによって課題をかかえていることが印象に残りました。
- 組織はできていたが、若い住民の後継者をつくるのは難しいので、緑のまちづくりが持続されるか心配です。
- 都市の中での貴重な緑を維持管理することは携わる人々の労力、予算等々大変なご苦労があると思いました。桜の花が咲くのは春だけですが、春夏秋冬、様々な姿を提供してくれます。人々に多くの大自然の恩恵を与えてくれます。地域住民の方々と行政が協議して、今後もみどりアップ事業の推進が出来たら良いと思いました。
- 課題にあったマンパワーですが、常時2～3人の参加が倍くらいになると作業が住民の方々にもっと広く浸透し気楽に参加できるのではないかと思います。
- 桜の丘の皆さんの続けて行こうという気持ちが大事だと思いました。
- 若い人や学生たちが参加してくれると良いですね。



## 4 施策ごとの評価・提案

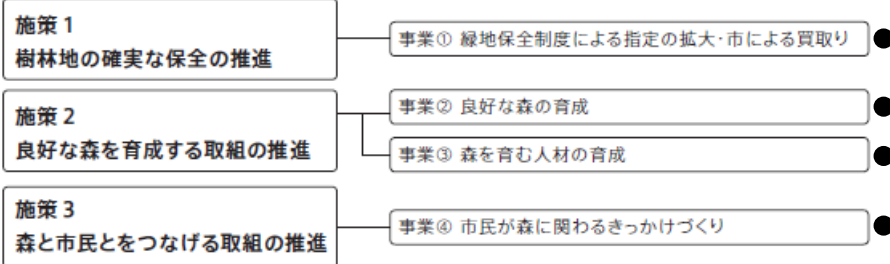
市民推進会議では、みどりアップ計画の「市民とともに次世代につなぐ森を育む(「森を育む」)」、「市民が身近に農を感じる場をつくる(「農を感じる」)」、「市民が実感できる緑や花をつくる(「緑をつくる」)」の施策と、みどりアップ計画を市民の皆さまに周知するための「広報・PR」について、現地調査で市民や活動団体などからいただいた意見等を踏まえて、評価・提案を行いました。

なお、みどりアップ計画で進めている事業・取組には、横浜みどり税の導入時に定めた用途に沿って横浜みどり税を充当している事業・取組と、横浜みどり税を充当せずに進めている事業・取組がありますが、市民推進会議では市民の皆さまが負担している横浜みどり税を充当している事業・取組を中心に評価・提案を行いました。

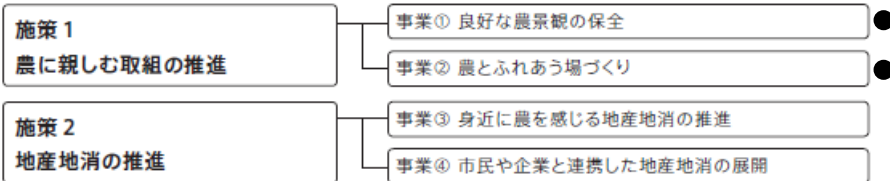
### ◆計画の体系

●：横浜みどり税を充当している事業・取組

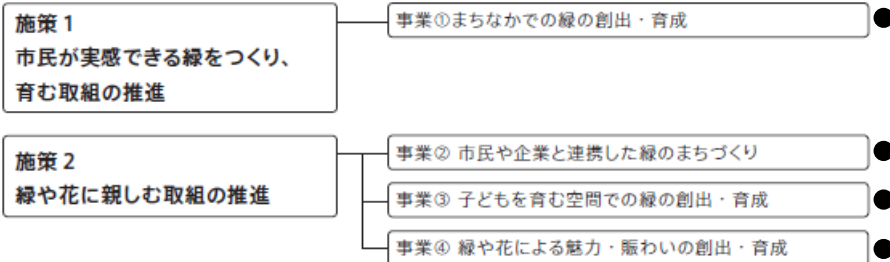
#### 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む



#### 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる



#### 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる



#### 効果的な広報の展開

● 事業① 市民の理解を広げる広報の展開

## ◆各計画の柱のハイライト

2020年度の実施状況について、これまでの実施状況とあわせて振り返ります。

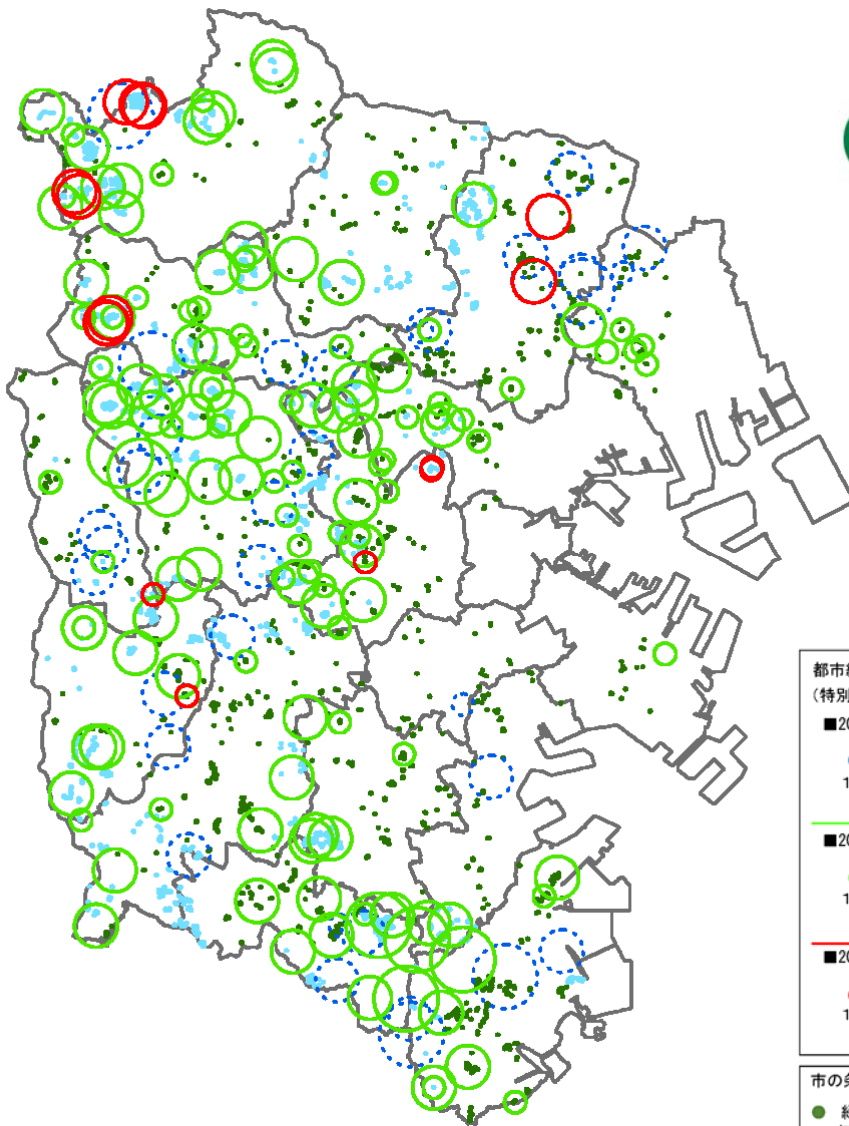


### 計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

#### 緑地保全制度による指定の拡大が進んでいます

特別緑地保全地区などの緑地保全制度による指定は、緑のネットワークの核となるまとまりのある樹林地を中心に土地所有者へ働きかけを行い、2009(H21)～2019(R1)年度の11年間で約952.8ha、2020年度は28.9ha指定されました。

#### <緑地保全制度による指定の状況>



#### <凡例>

都市緑地法、首都圏近郊緑地保全法に基づく指定地区 (特別緑地保全地区・近郊緑地特別保全地区)			
■2008年度以前指定地区			
1 ha	1 ha以上 10ha未満	10ha以上	
■2009～2019年度指定地区			
1 ha	1 ha以上 10ha未満	10ha以上	みどりアップ 期間中の指定
■2020年度指定地区			
1 ha	1 ha以上 10ha未満	10ha以上	本報告書で 評価対象と なる実績
市の条例に基づく指定地区			
● 緑地保存地区 (市街化区域の身近な樹林地を保全する制度)			
● 源流の森保存地区 (市街化調整区域の良好な樹林地を保全する制度)			



## 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

農園の開設が進んでいます

野菜の収穫や果実のもぎとりなどを気軽に体験できる収穫体験農園、区画割りされた農園で本格的な農作業が出来る認定市民菜園や農園付公園など、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設が進んでいます。



<農園の開設状況>

(2009(H21)年度からの12か年)

※( )内は2020年度新規開設分



令和3年3月末現在



### 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

#### 緑のまちづくりが進んでいます

市内各地で様々な緑をつくる自主的な活動が行われ、2009(H21)～2019(R1)年度の11年間で市内51地区において、魅力ある緑のまちづくりが進んでおり、2020年度は新たに4地区で緑化の取組が進みました。



#### <地域緑のまちづくり実施地区一覧>

地域緑のまちづくり実施地区一覧



六浦台地区（金沢区）

※横浜みどりアップ計画の詳細な実績については、「2020(令和2)年度 実績報告書」をご覧ください。

[https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midori\\_up/midori2020.html](https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/midori-koen/midori_up/midori2020.html)

URL 更新

◆評価・提案の概要

施策別専門部会で評価・提案内容を検討

## (1)計画の柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

森(樹林地)の多様な機能や役割に配慮しながら、緑のネットワークの核となるまとまりのある森を重点的に保全するとともに、保全した森を市民・事業者とともに育み、次世代に継承します。

### 施策1 樹林地の確実な保全の推進

#### 事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り

みどり税

#### ●事業概要(計画書から抜粋)

市内に残る樹林地の多くは民有地であり、まとまりのある樹林地を保全して次世代に引き継ぐためには、土地を所有する方が、できるだけ持ち続けられるよう支援する必要があります。そこで、緑地保全制度に基づく指定により土地所有者へ優遇措置を講じることで、樹林地を保全します。

また、土地所有者の不測の事態等による、樹林地の買入れ申し出に対応します。

#### ●実績

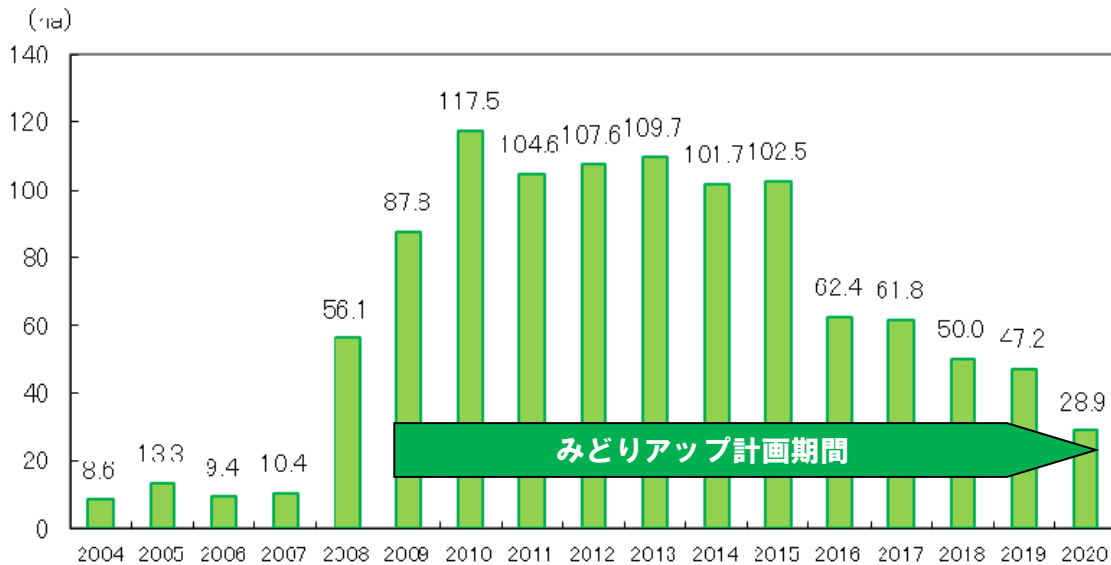
項目	5か年の 目標	2020年度	
		目標	実績
取組(1) 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り			
緑地保全制度による新規指定	300ha	60ha	28.9ha
土地所有者の不測の事態等による土地の買取り	(想定)113ha	(想定)22.8ha	18.9ha
保全した樹林地の整備	推進	推進	77か所で実施



特別緑地保全地区に新規指定された緑地  
(瀬谷区 阿久和南一丁目藤ヶ谷特別緑地保全地区)



緑地保全制度により買入れた緑地  
(保土ヶ谷区 (仮称)今井・境木市民の森)



【図】緑地保全制度による年度ごとの新規指定面積の推移

市担当者からのコメント(環境創造局緑地保全推進課)

- ・ 2019 年度から新たなみどりアップ計画に着手し、制度指定のメリットを土地所有者の皆様丁寧に説明しながら、新たな樹林地の指定に取り組みました。働きかけの対象となる未指定樹林地の小規模化に加え、昨年から続く新型コロナウイルス感染拡大防止の対応のため、指定の取組は非常に難しい状況が続いています。特に、昨年当初は土地所有者の皆様と直接お会いできない時期もあり、感染症対策をしながら働きかけを行いました。指定地区数としては2019年度の71地区に対し、2020年度は79地区を指定し、前年度を上回ったものの、指定面積は目標を下回る結果となりました。
- ・ 一方、樹林地の買取りが進み市の管理地が増える中、特別緑地保全地区等の新たな指定にあたっては、傾斜地など地形の状況や接道などの周辺状況を踏まえ、適切な整備や維持管理が行える区域とすることが必要です。区域設定の調整や課題の検討には時間を要しますが、今後もまとまりのある貴重な樹林地を保全するため、粘り強く事業を進めていきます。

◆施策1についての評価・提案

「森を育む」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

## 施策2 良好な森を育成する取組の推進

### 事業② 良好な森の育成

みどり税

#### ●事業概要(計画書から抜粋)

生物多様性の保全、快適性の確保、良好な景観形成、防災・減災など、森に期待される多様な機能が発揮できるように、利用者や樹林地周辺の安全にも配慮し、愛護会や森づくりボランティア、企業等様々な主体と連携しながら、良好な森づくりを進めます。

また、樹林地を所有する方が、できるだけ樹林地として持ち続けられるよう、緑地保全制度による指定地における維持管理の負担を軽減するための支援を行います。

#### ●実績

項目	5か年の目標	2020年度	
		目標	実績
取組(1) 森の多様な機能に着目した森づくりの推進			
森の維持管理	推進	推進	保安全管理計画の策定: 3箇所 維持管理: 195箇所
取組(2) 指定した樹林地における維持管理の支援			
維持管理の助成	500件	100件	162件



保安全管理計画の策定 (戸塚区 上矢部ふれあいの樹林)



森づくりガイドライン等を活用した維持管理の推進 (旭区 今宿市民の森)



●事業概要(計画書から抜粋)

市民や事業者と市の協働により森を育む取組を進めるため、森づくり活動に取り組む市民や団体を対象に、活動のための知識や技術に関する研修を実施し、森を育む「人」を育てます。また、森づくり活動を行う団体を対象に、活動に必要な支援を行います。

●実績

項目	5か年の 目標	2020 年度	
		目標	実績
<b>取組(1) 森づくりを担う人材の育成</b>			
森づくりを担う人材の育成	推進	推進	研修の実施:9回 体験会の開催:7回
広報誌等での森づくり活動に関する情報発信	20回	4回	4回
<b>取組(2) 森づくり活動団体への支援</b>			
森づくり活動団体への支援	150 団体	30 団体	33 団体
森づくり活動団体への専門家派遣	20 回	4回	4回
チップターの貸出し	推進	推進	11 回



森づくりを担う人材育成  
森づくり体験会の様子  
(緑区 鴨居原市民の森)



森づくり活動団体への支援  
専門家派遣の様子  
(栄区 本郷ふじやま公園)

#### 市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 樹林地管理においては、特に樹林地外周部の斜面で、災害予防を目的とした剪定や伐採などを行いました。その意義や効果については、多くの方々にご理解をいただけるようになってきたと感じています。保全管理計画の策定や計画的な管理についても、愛護会とも連携しながら進められており、今後も作業成果の検証を行いながら、生物多様性や安全性など森の機能を高める管理を着実に進めていきたいと考えています。
- 樹林地維持管理助成事業は 2019 年度に発生した台風の影響により、多くの申請に対応しました。気候変動による台風の大型化により、倒木等の被害が増加しているなかで、土地所有者の維持管理への負担感軽減により効果のある取組とするため、2020 年度から復旧作業に対する支援を拡充しました。今後も台風などの災害から樹林地を守っていくための一助として、土地所有者の方にこの助成の活用を呼びかけたいと思います。
- 「よこはまの森ニュースレター」では研修や支援制度の紹介、愛護会や森づくり活動団体の活動紹介などを行っています。今後、さらに活動の楽しみの幅が広がるよう、森づくり活動に必要な安全管理の知識や、森づくり体験会を実施した樹林地の林床にどんな変化がもたらされたのかなどの情報提供を行っていきます。

#### ◆施策2についての評価・提案

「森を育む」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

### 施策3 森と市民とをつなげる取組の推進

#### 事業④ 市民が森に関わるきっかけづくり

みどり税

#### ●事業概要(計画書から抜粋)

横浜の森について理解を深め、さらには行動につなげるため、森に関するイベントや講座の開催により、市民が森に関わるきっかけを提供します。また、市内5か所にあるウェルカムセンターの活用などにより、情報発信等に取り組みます。

#### ●実績

項目	5か年の 目標	2020年度	
		目標	実績
取組(1) 森の楽しみづくり			
市内大学や関係団体などと連携したイベントや、区主催による地域の森でのイベントの実施	180回	36回	34回
取組(2) 森に関する情報発信			
ウェルカムセンター周辺の緑を活用したイベント等	50回	10回	8回

#### 2020年度 ～森の楽しみづくり イベントの内容～

- ・よこはま森の楽校
- ・森の中のプレイパーク
- ・クラフト教室
- ・自然教室(昆虫観察会) など



森の中のプレイパーク「めざせ名探偵！  
森のパズルを解き明かせ！」の様子  
(中区 本牧山頂公園)

#### 保全林



#### 保全林



よこはま森の楽校の様子(Zoomにて開催・スライド資料)  
(都筑区 東京都市大学田中章研究室)



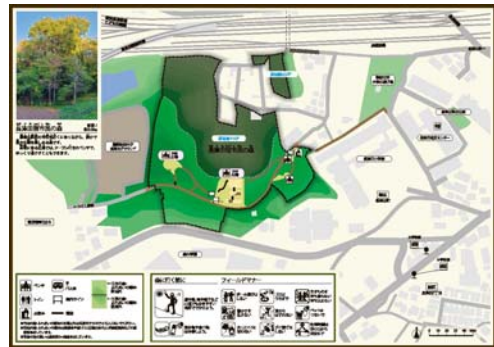
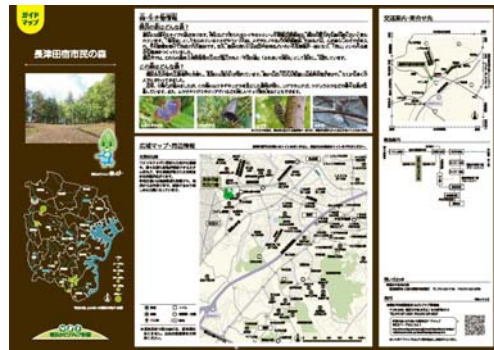
インタープリター養成講座の様子  
(緑区 新治市民の森)

## インタープリター養成講座 について

市内に残るみどりの大切さを広く知っていただくため、横浜の森の魅力や役割を、単なる情報提供だけではなく、直接体験や教材を通して、効果的に伝える技術や知識を学ぶ講座です。



ウェルカムセンターイベント  
「植物ずかん作り教室」の様子  
(保土ヶ谷区 環境活動支援センター)



長津田宿市民の森ガイドマップ

#### 市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 森の楽しみづくりとして、市内各地にある樹林地や緑を活用した自然観察イベント等を実施しました。森の楽校のキャンパスイベントについては、対面式のイベントが新型コロナウイルス感染症対策により実施できなかったため、開催方法については検討を重ね、初の試みとしてZoomを利用したWeb参加形式で実施しました。市内小学生を対象に図書館及び、公園で実施したイベント(森の中のプレイパーク)でも市民の森やふれあいの樹林などの自然観察や散策のできる樹林地が市内には数多くあることを紹介し、樹林地で過ごす時間の魅力を感じる機会を提供しました。
- コロナ禍での生活様式の変化から、市民の樹林地に対する関心は高まっており、ウェルカムセンターには多くの方が来館され、イベントも毎回たくさんのお申込みをいただいています。これまで関心の無かった方にも樹林地を訪れてもらう機会が増えた一方で、利用マナーをご存知ない方も一部いらっしゃるようです。今後はイベント等の楽しみづくりと共にマナーの普及啓発も着実に進める必要があると考えています。
- 今年度は、「長津田宿市民の森ガイドマップ」を新たに作成しました。広域マップ部分には周辺情報も盛り込み、付近にある公園やみどり等も一体的に楽しめるよう、工夫しています。より身近なみどりに関心が高まってきていますので、ガイドマップをきっかけに、市民が気軽に森を訪れることができるよう、これからも工夫していきます。

#### ◆施策3についての評価・提案

「森を育む」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

「森を育む」施策を検討する部会 部会長コメント

〇〇。

望月 正光



## (2) 計画の柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

良好な景観形成や生物多様性の保全など、農地が持つ環境面での機能や役割に着目した取組、地産地消や農体験の場の創出など、市民と農の関わりを深める取組を展開します。

### 施策1 農に親しむ取組の推進

#### 事業① 良好な農景観の保全

みどり税

#### ●事業概要(計画書から抜粋)

農地は良好な農景観の形成や生物多様性の保全、雨水の貯留・かん養機能など多様な機能を有しており、横浜に残る農地や農業がつくりだす「農」の景観は多様です。農業専用地区に代表される、集団的な農地から構成される広がりのある景観や、樹林地と田や畑が一体となった谷戸景観などが、地域の農景観として多くの市民に親しまれてきました。この農景観を次世代に継承するため、横浜に残る貴重な水田景観を保全する取組や、意欲ある農家や法人などにより農地を維持する取組を支援します。

#### ●実績

項目	5か年の 目標	2020年度		
		目標	実績	
取組(1) 水田の保全				
水田保全面積	125ha	125ha	113.3ha	
水源・水路の確保	10 か所	2か所	3か所	
取組(2) 特定農業用施設保全契約の締結				
特定農業用施設保全契約の締結	制度運用	制度運用	契約 27 件	
取組(3) 農景観を良好に維持する活動の支援				
まとまりのある農地を 良好に維持する団体 の活動への支援	集団農地維持面積	730ha	690ha	643.9ha
	農地縁辺部への植栽	55 件	11 件	15 件
	井戸の改修	5地区	1地区	4地区
	土砂流出防止対策	15 件	3件	5件
周辺環境に配慮した活 動への支援	牧草等による環境対策	20ha	4ha	4.36ha
	たい肥化設備等の支援	25 件	5件	3件
取組(4) 多様な主体による農地の利用促進				
遊休農地の復元支援	1.5ha	0.3ha	0.28ha	



保全された水田(戸塚区舞岡町)



整備された水路(泉区下飯田町)



土砂流出防止対策を実施した農地  
(都筑区東方町)



まとまりのある農地への景観植物の植栽  
(旭区 都岡地区恵みの里)





●事業概要(計画書から抜粋)

食と農への関心や、農とのふれあいを求める市民の声の高まりに応えるため、収穫体験から本格的な農作業まで、様々な市民ニーズに合わせた農園の開設や整備を市内各地で進めます。

また、市民と農との交流拠点である横浜ふるさと村や恵みの里を中心に、市民が農とふれあう機会の提供や、農家への援農活動を支援します。

●実績

項目	5か年の 目標	2020年度	
		目標	実績
<b>取組(1) 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設</b>			
様々な市民ニーズに合わせた農園の開設	22.8ha	3.5ha	<b>3.98ha</b>
うち 収穫体験農園の開設支援	(7.5ha)	(1.5ha)	<b>(2.87ha)</b>
うち 市民農園の開設支援(栽培収穫体験ファーム・環境学習農園・認定市民菜園)	(10ha)	(2.0ha)	<b>(1.11ha)</b>
うち 農園付公園の整備	(5.3ha)	(0.0ha)	<b>(0.0ha)</b> (着手済 4.4ha)
<b>取組(2) 市民が農を楽しみ支援する取組の推進</b>			
横浜ふるさと村、恵みの里等で農体験教室などの実施	450回	90回	<b>50回</b>
市民農業大学講座の開催	100回	20回	<b>0回</b>
家族で学ぶ農体験講座の開催	30回	6回	<b>6回</b>



開設支援した収穫体験農園  
(保土ヶ谷区川島町)



開設支援した認定市民農園  
(青葉区新石川)



恵みの里の農体験教室  
(緑区新治町)



家族で学ぶ農体験講座  
(保土ヶ谷区 環境活動支援センター)

**市担当者からのコメント(環境創造局環境活動支援センター)**

- 家族で学ぶ農体験講座は、小学生とその家族が協力して種まきから草取りなどの作業を経て収穫までの一連の農作業を体験して農業について学ぶとともに、横浜の農業や緑の大切さを楽しみながら知ることを目的としています。普段あまり体験することのない農作業を楽しみながら進めることができ、参加者からは、「いつもスーパーで見かける野菜が、畑でどのように育つか分かり、よい勉強になった」、「農業って大変だとあらためて感じた」などの意見があり、農業への理解や関心を深めることができました。今後も楽しみながら学び、横浜の農業や緑への関心を持つきっかけとなる講座を継続していきます。

◆施策1についての評価・提案

「農を感じる」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討



## 施策2 地産地消の推進

### 事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進

#### ●事業概要(計画書から抜粋)

身近に市内産農畜産物や加工品を買える場や機会があることへの市民ニーズは高く、地域で生産されたものを地域で消費する地産地消の取組は、身近に農を感じ、横浜の農への理解を深めるきっかけにもなります。

そこで、「横浜農場※の展開」による地産地消を推進するため、地域でとれた農畜産物などを販売する直売所等の整備・運営支援や、市内で生産される苗木や花苗を配布するなどの取組を進めます。あわせて、地産地消に関わる情報の発信など、PR活動を推進します。

※横浜農場：食や農に関わる多様な人たち、農畜産物、農景観など、横浜らしい農業全体を農場と見立てた言葉

#### ●実績

項目	5か年の目標	2020年度	
		目標	実績
取組(1) 地産地消にふれる機会の拡大			
直売所・青空市等の支援	285件	57件	41件 (直売所・加工所:18件、 青空市・マルシェ等:23件)
緑化用苗木の配布	125,000本	25,000本	25,000本
情報誌などの発行	30回	6回	6回



緑化用苗木の配布(中区)



ミニ食と農の祭典 2020@横浜農場



はまふうどナビ第56号

## 事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開

### ●事業概要(計画書から抜粋)

市内産農畜産物を食材として活用し、加工販売したいと考える企業や、横浜の農業の魅力伝える活動を行う野菜ソムリエや料理人などが増え、市民や企業、学校など農業関係者以外の主体が地産地消の取組を実施する活動が広がっています。この動きをさらに拡大するため、市民の「食」と、農地や農畜産物といった「農」をつなぐ「はまふうどコンシェルジュ」などの地産地消に関わる人材の育成やネットワークの強化を図り、「農のプラットフォーム」を充実するとともに、農と市民・企業等が連携した「横浜農場の展開」を推進します。

### ●実績

項目	5か年の 目標	2020年度	
		目標	実績
<b>取組(1) 地産地消を広げる人材の育成</b>			
はまふうどコンシェルジュの活動支援等	150件	30件	27件
地産地消ネットワーク交流会の開催	5回	1回	1回
<b>取組(2) 市民や企業等との連携</b>			
市民や企業等との連携	50件	10件	15件
ビジネス創出支援	16件	4件	3件
学校給食での市内産農産物の一斉供給	推進	推進	推進
料理コンクールの開催	5回	1回	1回



はまふうどコンシェルジュ活動支援  
(マルシェの開催)



地産地消ネットワーク交流会の開催  
(食と農のフォーラム)



企業等との連携による地産地消の推進  
(ニューマン横浜における地産地消フェアの開催)



はま菜ちゃん料理コンクール  
入選作品レシピ集

**市担当者からのコメント(環境創造局農業振興課)**

今年度は、株式会社ルミネ及び横浜銀行と連携した、ニューマン横浜における「横浜地産地消フェア」の開催や JA 横浜と連携した市庁舎での横浜野菜の直売など、新たな地産地消の取組を企業等との連携により実現することができました。これらの取組を通じて、より多くの方に横浜で営まれている農の魅力を感じていただくことができました。引き続き、様々な主体と連携しながら、市民の皆様が身近に農を感じられる取組を進めていきたいと思っております。

**◆施策2についての評価・提案**

「農を感じる」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

「農を感じる」施策を検討する部会 部会長コメント

〇〇。

内海 宏



### (3) 計画の柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

街の魅力を高め、賑わいづくりにつながる緑や花、街路樹などの緑の創出に、緑のネットワーク形成も念頭において取り組みます。また、地域で緑を創出・継承する市民や事業者の取組を支援します。

#### 施策1 市民が実感できる緑をつくり、育む取組の推進 .....

##### 事業① まちなかでの緑の創出・育成

みどり税

##### ●事業概要(計画書から抜粋)

多くの市民の目にふれる場所での緑化や目にする機会の多い街路樹を良好に育成するための取組、地域で古くから親しまれている名木古木の保存など、市民が実感でき、生物多様性の保全に寄与し、地域の良好な景観形成や賑わい創出につながる緑の創出・育成を推進します。

##### ●実績

項目	5か年の 目標	2020年度	
		目標	実績
<b>取組(1) 公共施設・公有地での緑の創出・育成</b>			
緑の創出	36か所	7か所	12か所
緑の維持管理	推進	推進	50件
<b>取組(2) 街路樹による良好な景観の創出・育成</b>			
並木の再生	10路線	2路線	6路線 (2路線完了・4路線整備中)
空き樹の補植	推進	推進	高木 180本 低木 1,080本
良好な維持管理	18区で推進	18区で推進	17,710本
<b>取組(3) シンボリックな緑の創出・育成</b>			
公有地化によるシンボリックな緑の創出・管理	(想定)継続2か所、 新規2か所	推進	継続1か所整備中
公開性のある緑空間の創出支援	(想定)10か所程度	推進	2か所
<b>取組(4) 建築物緑化保全契約の締結</b>			
建築物緑化保全契約の締結	制度運用	制度運用	新規:2件 再契約:13件
<b>取組(5) 名木古木の保存</b>			
名木古木の保存	推進	推進	新規指定:28本 維持管理の助成:73本





神奈川県みなとみらいキャンパス(西区)  
【公開性のある緑空間の創出支援】



名木古木の新規指定(戸塚区)

**市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)**

- 並木の再生では、市内の6路線について、老木化した桜並木などの地域に愛されている街路樹の更新を進め、2路線の整備が完了しました。安全性が高まり、地域に親しまれている緑の景観の維持につながっています。
- 公開性のある緑空間の創出支援事業では、2件の緑化支援が進められました。そのうちのひとつ、神奈川県みなとみらいキャンパスは、多くの人々が集い・行き交う地区での事例となり、本事業の趣旨に沿ったシンボリック事例になるのではないかと考えています。引き続き、多くの市民の皆様実感される緑をつくれるよう、取組を進めていきます。

◆施策1についての評価・提案

「緑を作る」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討



## 施策2 緑や花に親しむ取組の推進

### 事業② 市民や企業と連携した緑のまちづくり

みどり税

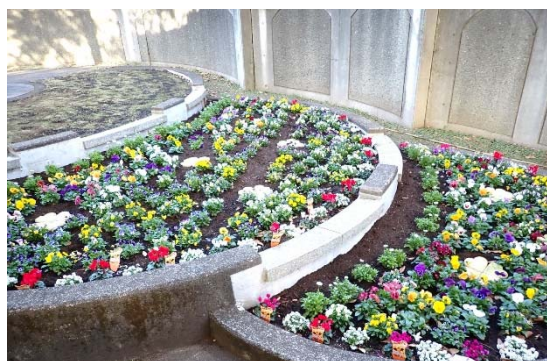
#### ●事業概要(計画書から抜粋)

緑あふれる魅力的な街をつくるためには、市民や企業と連携した取組が不可欠です。地域が主体となり、地域にふさわしい緑を創出する取組など、緑の創出・育成に積極的に取り組む市民や企業を支援し、市民の生活の身近な場所で、緑や花に親しむきっかけづくりを推進します。

また、第33回全国都市緑化よこはまフェアなど、これまで多くの市民や企業の協力で展開された各区での緑や花に親しむ取組を、引き続き推進します。

#### ●実績

項目	5か年の目標	2020年度	
		目標	実績
取組(1) 地域緑のまちづくり			
地域緑のまちづくり	新規 30 地区	新規6地区	新規4地区 継続9地区
取組(2) 地域に根差した緑や花の楽しみづくり			
緑や花を身近に感じる各区の取組	18 区で推進	18 区で推進	18 区で推進
地域の花いっぱいにつながる取組	推進	推進	推進
取組(3) 人生記念樹の配布			
人生記念樹の配布	40,000 本配布	8,000 本配布	6,284 本配布



創出された民有地の緑化  
(旭区若葉台もみじ自治会周辺地区)  
【地域緑のまちづくり】



緑化活動(花壇の花植え)  
(港北区綱島西地区)  
【地域緑のまちづくり】

●事業概要(計画書から抜粋)

次世代を担う子どもたちが緑と親しみ、感性豊かに成長できるよう、子どもが多くの時間を過ごす保育園、幼稚園、小中学校を対象に、施設ごとのニーズに合わせた多様な緑の創出・育成を進めます。緑の創出にあたっては、子どもたちと生き物とのふれあいが生まれるような空間づくりに取り組みます。

●実績

項目	5か年の 目標	2020年度	
		目標	実績
取組(1) 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成			
緑の創出	100 か所	20 か所	41 か所
緑の維持管理	推進	推進	121 か所で実施



園庭の芝生化  
(緑区みもぎ保育園)



小学校でのビオトープ整備  
(青葉区奈良の丘小学校)



校庭・園庭芝生の育て方講座



親子体験イベントの開催

●事業概要(計画書から抜粋)

第33回全国都市緑化よこはまフェアには、多くの人が訪れ、緑や花が人を呼び込み、街の賑わいを創出しました。多くの市民が時間を過ごし、国内外から多くの観光客が訪れるエリアである都心臨海部などにおいて、これらの取組を継承し、公共空間を中心に緑や花による空間演出や質の高い維持管理を集中的に展開し、街の魅力や回遊性の向上・賑わいづくりにつなげます。

●実績

項目	5か年の 目標	2020年度	
		目標	実績
取組(1) 都心臨海部等の緑花※による魅力ある空間づくり			
緑花による空間づくりと維持管理	推進	推進	15か所で実施

※緑花(りょくか)とは・・・樹木や芝生などの「緑」と四季折々の彩(いろどり)としての「花」を組み合わせて植栽することで、街の魅力形成や賑わいづくりを行うものです。



緑花の維持管理(グランモール公園)



緑花の維持管理(山下公園)



里山ガーデン春の大花壇



主要な駅前での緑化(新横浜駅周辺)

#### 市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)

- 地域緑のまちづくり事業では、新型コロナウイルス感染症対応のため、地域団体の活動が難しい状況を鑑みて、募集時期の変更、提案団体への個別事業説明を実施しました。提案団体には、地域緑化計画策定に向けた支援を行い、2020年度は4団体が選考を通過しました。市民生活に身近な多くの地区で、こうした緑のまちづくりの機運が高まっていると感じています。また、協定締結期間が終了する団体からも、活動をきっかけとして地域に緑や花が増えたという喜びの声や、まちなかの緑化を通じてこれまで交流のなかった高齢者と子供など、地域での新しいつながりが生まれたなどの声が寄せられました。
- 子どもを育む場である保育園・幼稚園・小中学校における園庭・校庭の芝生化では、管理方法についてアドバイザーを派遣するなど、創出した芝生が適切に管理できるよう支援を実施しています。また、ビオトープの再整備の取組では、専門家を派遣して整備計画づくりや維持管理、授業での活用法のアドバイスを行っています。子どもたちはいきいきとビオトープや地域の生き物について学び、計画づくりや整備、利用のルールづくりなどに取り組んでおり、学校の総合学習などの機会において効果的に活用されています。
- 緑花による魅力ある空間づくりとして、山下公園や日本大通りなどの都心臨海部での取組を続けています。また、こども自然公園などの都市公園、ガーデンネックレス横浜の里山ガーデンなど、花や緑による空間演出や質の高い維持管理を展開し、多くの市民が訪れる場所での魅力向上や賑わいづくりにつなげました。

#### ◆施策2についての評価・提案

「緑を作る」施策を検討する部会で評価・提案内容を検討

「緑をつくる」施策を検討する部会 部会長コメント

〇〇。

池邊 このみ



## (4)効果的な広報の展開

### 事業① 市民の理解を広げる広報の展開

#### ●事業概要(計画書から抜粋)

取組の内容や実績について、より多くの市民・事業者理解されるとともに、緑を楽しみ、緑に関わる活動に参加していただけるよう、戦略的な広報を展開します。

#### ●実績

2020 年度	
目標	実績
広報よこはま等の広報紙への記事掲載	市版:3件(9月号、11月号、3月号) 区版:11件(中区版5・6月号、旭区版5月号、磯子区版5月号、緑区版5・6・1月号、栄区版2月号、泉区版4月号、瀬谷区版4・5月号)
実績リーフレット作成、自治会・町内会への説明や回覧	・市連会、区連会での実績報告(10月) ・実績リーフレット等の単位自治会・町内会長配布(10月) ・実績リーフレット等の区役所やPRボックスでの配架(10月)
広告、動画等の各種メディアを活用したPR	・交通広告の掲載:1件(10月) ・公用車等でマグネットシートによるPR ・横浜市営地下鉄「YS-VISION」放映(3月) ・市庁舎アトリウム及び低層階・高層階デジタルサイネージ動画放映 ・YouTube 動画掲載:2件
ホームページの充実	・実績報告書の掲載(10月)
メールマガジンやソーシャルメディア等による情報発信	・「横浜みどりアップ計画メールマガジン」の発行(毎月) ・twitterの発信(横浜環境情報 @yokohama_kankyo)
緑に関するイベントでのPR	・秋の里山ガーデンフェスタ(9~10月) ・農と緑の感謝デー(11月) ・春の里山ガーデンフェスタ(3月) など
取組に基づいて実施したことを示す現地表示(プレート)	・事業実施場所での現地表示(特別緑地保全地区、ガーデンネックレス横浜、市民の森案内板、各区での取組、工事現場等)

※市民推進会議による広報企画としては、広報誌「Yokohama みどりアップ Action」を2号編集・発行。(詳細は P.7「③広報・見える化部会」参照)





広報よこはまへの取組実績の記事掲載  
(市版 11月号)



PR動画を活用した広報  
(新市庁舎アトリウム)



市営地下鉄車内での動画広告



緑に関するイベントでのPR  
(環境活動支援センター)



線路沿いでの現地表示看板の設置  
(保土ケ谷区権太坂)

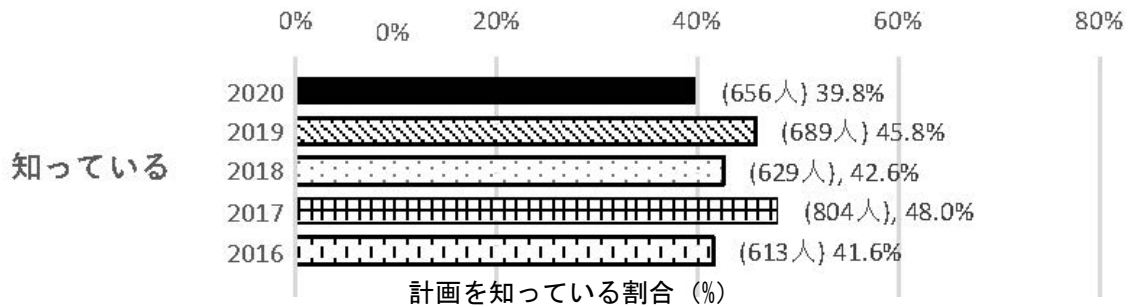


ガーデンネックレス横浜での現地表示  
(みなとエリアの花壇)

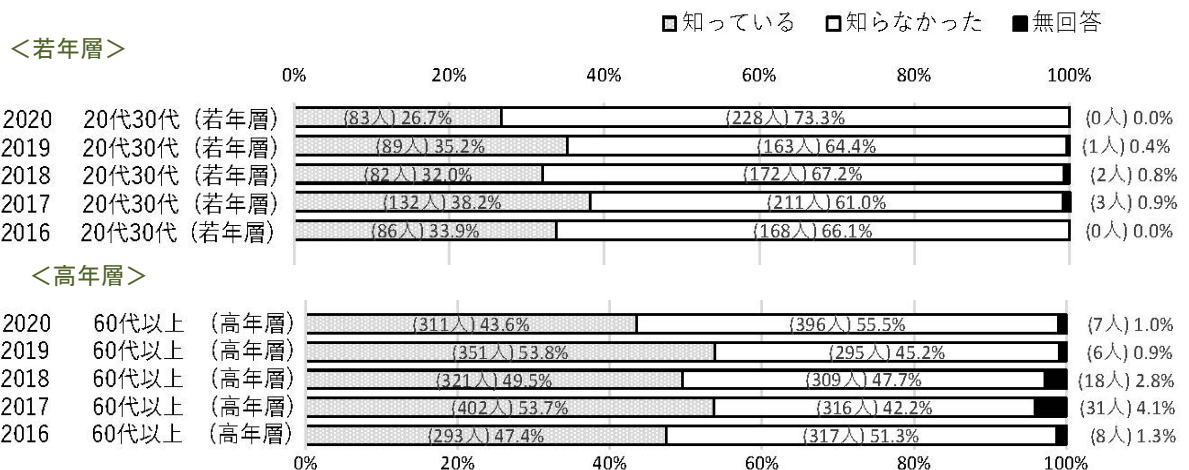
Q.「横浜みどりアップ計画」をご存知ですか？

計画を知っている割合は4割台で推移。

2020年度は、39.8%が知っていると回答



計画を知っている割合は、高年層で高く、若年層で低い傾向が続いている。



※「知っている」は、「取り組み内容を知っている」、「あることを知っている」、「名称を見たことや聞いたことがある」の

『「横浜みどりアップ計画」や「横浜みどり税」の広報に関する調査』等の調査結果より

**市担当者からのコメント(環境創造局みどりアップ推進課)**

- みどりアップ計画の実績については、リーフレットを作成し市連会・区連会での説明を行うほか、広報よこはま市版に記事掲載を行い広く市民へ実績が伝わるよう努めました。
- また、2020年度にオープンした新市庁舎の玄関口「アトリウム」で、緑や花が美しく育っているイメージ動画を大型ビジョンで放映したほか、庁舎内のデジタルサイネージ、電車内広告でも放映を行い、みどりアップの取組成果をPRしました。
- 新型コロナウイルス対策によりイベントが中止されるなどPR機会が縮小となりましたが、一方、身近な花や緑が見直され、市民の森や公園が多くの方に利用されました。この機をとらえ、みどりアップ計画の取組がより多くの方の目に留まるよう、現地表示やホームページ、動画PRなどを強化し、より充実した広報を進めていきたいです。

◆施策についての評価・提案

広報・見える化部会で評価・提案内容を検討

広報・見える化部会 部会長コメント

〇〇。

高田 房枝



## 5 市民推進会議委員名簿

### 横浜みどりアップ計画市民推進会議 名簿(2021年4月時点)

(50音順・敬称略)

	氏名	区分	備考
副座長	網代 宗四郎	関係団体	横浜市町内会連合会 委員
	池島 祥文	学識経験者	横浜国立大学 准教授
	池田 信彦	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
	池邊 このみ	学識経験者	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
	石原 信也	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
	岩本 誠	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
	内海 宏	学識経験者	(株)地域計画研究所 代表取締役
	奥井 奈都美	公募市民	
	川幡 賢司	関係団体	横浜農業協同組合 横浜農業総合対策室 室長
	国吉 純	公募市民	
座長	進士 五十八	学識経験者	福井県立大学 学長
	高田 房枝	公募市民	
	高橋 秀忠	公募市民	
	野渡 リツ子	関係団体	横浜市南西部農業委員会 委員
	村松 晶子	公募市民	
	望月 正光	学識経験者	関東学院大学 経済学部 教授

<施策別専門部会 名簿>

「森を育む」施策を検討する部会 名簿

(50音順・敬称略)

氏名	区分	備考
網代 宗四郎	関係団体	横浜市町内会連合会 委員
岩本 誠	関係団体	三保市民の森愛護会 会長
奥井 奈都美	公募市民	
高橋 秀忠	公募市民	
部会長 望月 正光	学識経験者	関東学院大学 経済学部 教授

「農を感じる」施策を検討する部会 名簿

(50音順・敬称略)

氏名	区分	備考
池島 祥文	学識経験者	横浜国立大学 准教授
部会長 内海 宏	学識経験者	(株)地域計画研究所 代表取締役
川幡 賢司	関係団体	横浜農業協同組合 横浜農業総合対策室 室長
野渡 リツ子	関係団体	横浜市南西部農業委員会 委員
村松 晶子	公募市民	

「緑をつくる」施策を検討する部会 名簿

(50音順・敬称略)

氏名	区分	備考
池田 信彦	関係団体	よこはま緑の推進団体連絡協議会 会長
部会長 池邊 このみ	学識経験者	千葉大学大学院 園芸学研究科 教授
石原 信也	関係団体	横浜商工会議所 産業振興部長
国吉 純	公募市民	
高田 房枝	公募市民	

## 広報・見える化部会 名簿

(50 音順・敬称略)

部会長

氏 名	区 分	備 考
奥井 奈都美	公募市民	
国吉 純	公募市民	
高田 房枝	公募市民	
高橋 秀忠	公募市民	
村松 晶子	公募市民	
望月 正光	学識経験者	関東学院大学 経済学部 教授

## 6 市民推進会議委員からのコメント

市民推進会議の委員を務めてきた中で感じたことや、生活の中で日ごろ各委員が感じたことについて、委員一人ひとりからのコメントを紹介します。



## 7 市民推進会議広報誌(再録)

### 「YokohamaみどりアップAction」(2020年度発行分)

#### 第3号 2021年2月発行

オープンガーデン

(港北区 園芸ボランティアみらい)

#### 第4号 2021年3月発行

市民の森

(緑区 ながつたしゆく 長津田宿 市民の森)

# Yokohama みどりアップ Action

市民が発信  
Vol.3  
2021.2

花がとりもつ、  
人との出会い。



横浜みどりアップ計画



※撮影時のみマスクを外していただきました。



# 緑と花でつながる仲間の絆

園芸ボランティアみらいの  
皆さんに聞きました!

港北区にある新吉田地域ケアプラザ。敷地内に咲くきれいな花々をお手入れされているのが「園芸ボランティアみらい」です。その熱心な活動の原動力は？大事に育てられている花を見ることができるといえるベストな機会は？取材を通して見てきたのは、緑と花を介して結ばれる、人と人の絆でした。 文：奥井 奈都美、国吉 純

## 活動歴はなんと18年! 仲間との交流も楽しみのひとつ

園芸ボランティアみらいは、2000年に新吉田地域ケアプラザで開催された、園芸ボランティア養成講座の修了生が中心となり立ち上げたと言った代表の吉岡さん。設立から18年、メンバーひとりひとりが自分のスキルを上手に生かし、地域での大人の仲間づくりを楽しみながら、息の長い活動を続けられています。

現在メンバーの平均年齢は80代。「ここで皆さんと会えるのが楽しみ」、「お花がきれいに咲くのが一番嬉しい」とおっしゃっていました。これが元気の秘訣ですね。

活動エリアは広く、ケアプラザのほとんどの植物を、年間を通してお手入れされています。そんな熱心な園芸活動が認められ、様々な賞を受賞しています。

## 港北オープンガーデンでお披露目



何った季節は秋、奥の花壇には、色とりどりの可愛らしい花が咲いていました。ポーチュラカ、コスモス、ニラバナ、etc. 秋の美しい花がこんなにあったとは、と驚きました。皆さん、おしゃべりを楽しみながら伸び過ぎた枝葉をサクサクと手際よく切っていきます。毎年春に開催されている「港北オープンガーデン」に参加されているとのことなので、次のイベントでは是非ここに来て、春の花と皆さんの笑顔に再会したいと思いました。



活動を始められた頃の様子

### ここが みどりアップ 計画

緑や花に親しむ市民の盛り上がりを醸成するため、「地域に根差した緑や花の楽しみづくり」を進めています。その取組のひとつとして、港北オープンガーデンの運営を支援し、地域発の緑の活動に寄り添っています。





港北区の職員の方に  
聞きました!



※2019年度のオープンガーデンの様子。2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響に鑑み中止となりました。



## 港北オープンガーデンとは?

転入者の多い港北区において、地域への愛着を深めてもらおうと始まった取組です。2013年から毎年春に開催され、期間中、会場となっている個人庭や地域の方々がお手入れしている花壇を楽しむことができます。オープンガーデンの企画・運営は、区民ボランティアと港北区役所で組織された「港北オープンガーデン運営委員会」が担っています。ボランティアスタッフに

よる案内所設置や、人気企画のガイドツアーもあり、会場間を楽しみながら歩けるような工夫も。区民の方々に支えられた、地域に根差したイベントになっていますね。お庭のオーナーさんとボランティア、参加者…多様な人たちの出会いの場となり、地域の絆が育まれているそうです。緑と花が人にもたらす力を感じました。

港北オープンガーデン 詳しくはこちら!



## やってみようガーデニング ～春の花を楽しむ～

花を置いて楽しみたいと思ったら、難しく考えず、園芸店などに行って苗を買うことから始めましょう。名前がわからなくても、好きな色の花を選んでベランダやお庭でガーデニングをしてみませんか? 蕾が多くて、しっかりとした苗がおすすめです!



葉裏の病気の跡や虫の有無もチェックしておくといいでしょう!

### 植え方

- 1 プランターに鉢底石をひと並べする。
- 2 肥料を混ぜた培養土を鉢の半分くらいまで入れる。
- 3 花苗を置く。鉢から1cmくらい下まで土がくるように。低すぎるときは調整する。
- 4 苗の周りに土を入れる。割り箸などで隙間なく土が入るように突く。
- 5 苗の土と同じ高さまで土が入り、苗がぐらつかなくなったら完成。
- 6 花に水がかからないようにたっぷり水やりをする。鉢底から水が流れるのを確認したらもう一度、水が流れるまで水やりをする。



### 春の花壇やプランターに向く花

春の庭やベランダでは優しいパステルカラーの花色がたくさん出回ります。

- 🌸 青い花: ワスレナグサ、ネモフィラ、ブルーデージー
- 🌸 黄色い花: クリサンセマム・ムルチコーレ、カレンジュラ
- 🌸 白い花: スイートアリッサム、ノースポール、マーガレット
- 🌸 ピンクの花: リナリア、キンギョソウ、オステオスペルマム、etc.



# 身近な緑、 増えています!!

横浜みどりアップ計画では、今ある樹林地や農地を守るだけでなく、多くの市民の皆さんの目にふれる場所で、緑豊かな空間を新たに作っています。今回は、「シンボリックな緑の創出・育成」の取組として新たに整備された公園をご紹介します！



## 六角橋四丁目公園

中央に芝生広場があり、眺めがよく、季節の花も楽しめます。シンボルツリーとして芝生広場の中央に植えられている木は、区の木でもある「コブシ」です。まちなかに心地良い空間が生まれました。



### 所在

神奈川区六角橋 4-720-4

### アクセス

横浜駅から市営バス50系統・神大寺入口行  
県営栗田谷住宅前バス停下車  
徒歩2分

皆さんの身近な場所にも「新しい緑」があるかも!?  
ぜひ、見つけてみてください!

横浜みどりアップ計画

これが  
目印!



## 苗木の数だけ思い出がある 「人生記念樹」

横浜みどりアップ計画では、多くの市民の皆さんが緑をつくり、育むきっかけとなるよう、出生や入学、住宅の新築や購入などの人生の節目の記念に、人生記念樹として苗木を配布しています。思い出とともに人生記念樹を育ててみませんか? インターネットまたは各区の区役所で配布している専用はがきで申し込みます。

区の木などの中から、  
お好きな苗木を  
選べます!

詳しくは  
こちら!



### 横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

### 横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

### Yokohama

### みどりアップActionとは?

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のAction(行動・活動)を起こしましょう!!

※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

市民推進会議広報誌



### ご意見・ご感想を お待ちしております!

みどりアップActionについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

詳しくは  
こちら!



### YokohamaみどりアップAction 第3号

(旧みどりアップQ) (市民推進会議広報誌第38号) 令和3年2月発行  
編集:横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会  
発行:横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

### 問合せ

横浜市環境創造局政策課(事務局)  
TEL:045-671-4214 FAX:045-550-4093  
E-mail:ks-mimiplan@city.yokohama.jp

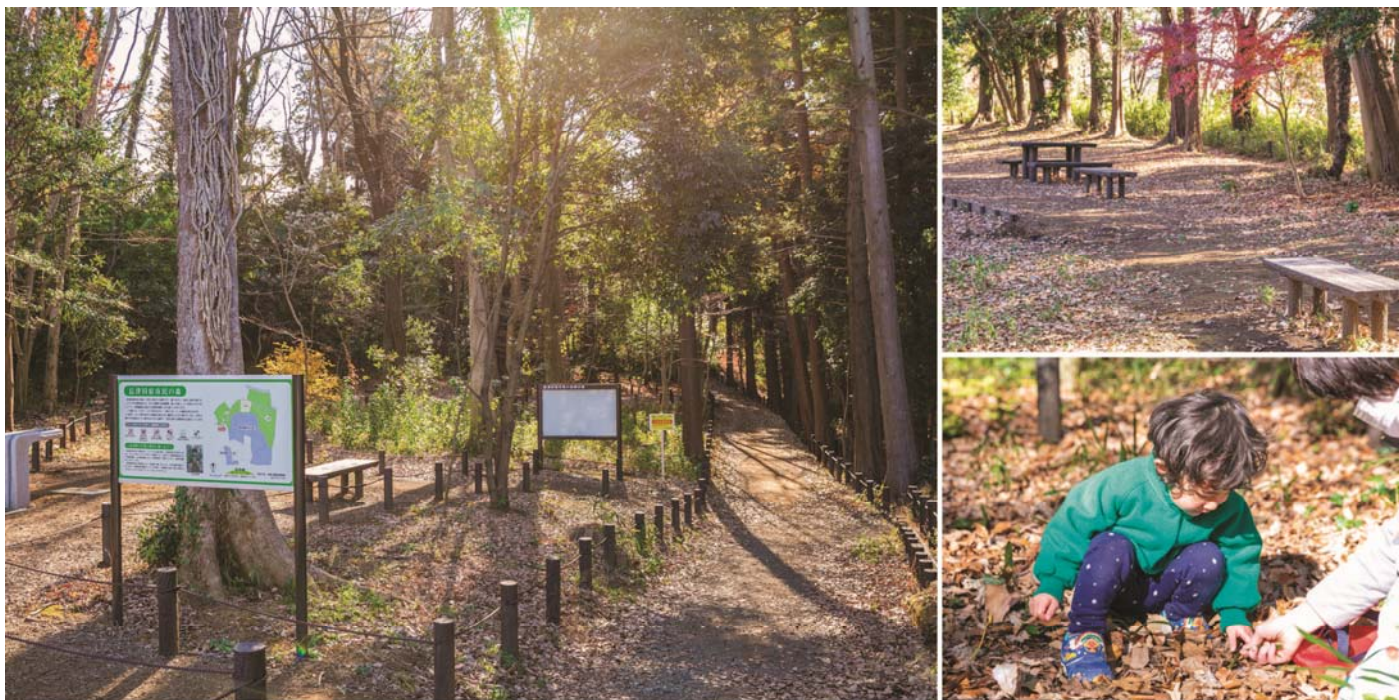


# Yokohama みどりアップ Action

市民が発信  
Vol.4  
2021.3



森と過ごす  
幸せな時間。



# 市民の森って何？

「市民の森」、聞いたことはありますか？市民の森は横浜市独自の制度により守られた、散策できる樹林地です。実は、土地所有者を始めとした多くの方の支えにより利用できています。今回は、オープンしたばかりの「長津田宿市民の森」を訪ねながら、市民の森についてご紹介します。

文：高田房枝、高橋秀忠、村松晶子



## 実は身近にあった市民の森

長津田宿市民の森の出入口は民家のすぐ先であり、街の中にひょっこり現れる印象です。公園と違い門はなく案内板が目印となっていて、日の出から日没まで自由に入出入りできます。私たちが散策できるこのような市民の森は市内に47か所\*あり、多くは土地所有者と横浜市が契約することで公開されています。こんなに身近なところに森があるなんて、驚く方も多いのでは？



## 市民の森で見つけた整備の工夫

入口の先には木漏れ日注ぐ樹林地が広がり、街の喧騒から一転、森の精気が感じられます。中は散策路やステージのような広場、野外卓が整備され、親子連れが楽しそうに利用していました。急な斜面地は柵で囲われ安全も確保されています。森の整備にあたっては、その森が持つ景観や特徴を生かせるよう工夫しているそうです。森ごとに異なる表情を楽しみたいですね。



\*2021年3月現在。40か所を公開中。





1. 森づくりボランティア体験会 2. クロアゲハ 3. 保全管理計画の打合せ 4. マルバスミレ 5. ウグイスカグラ 6. アカネスミレ 7. 保全管理計画フォローアップ研修  
8. 長津田市民の森案内板

市民の森  
ガイドマップ  
はこちら!



## 森づくりの担い手 やってみよう!

市民の森では、森を良好な状態に保つため「市民の森愛護会」や「森づくり活動団体」として多くの市民が活躍しています。下草刈りから樹木の手入れまで多種多様な活動をしています。森に興味がある方は、はじめてでも気軽に参加できる「森づくり体験会」があるので、森と関わるはじめての一步を体験してみませんか?

### 森づくりボランティア —森づくり体験会—

美しく様々な生き物が暮らす豊かな横浜の森は、森づくり活動により守り育てられています。手を入れるとこたえてくれる、森の魅力を味わってみてはいかがでしょうか。



## みんなで考える 保全管理計画

将来にわたって良好な森を保つためには、計画的な管理が欠かせません。市民の森では、愛護会、土地所有者、ボランティアなどの市民と行政、専門家が集まって話し合い、未来の森の姿を描いた「保全管理計画」を作っているそうです。

計画では、林・草地・谷戸・土手などの自然環境面や、生き物の保全・育成や環境学習といった機能面、安全面から区域を分け、区域ごとの管理方法などが決められていました。このようにしてみんなの森がつけられ、保たれているんですね。



## まずは訪ねてみましょう やってみよう!

市民による、市民のための「市民の森」、いかがでしたか? 市民の森には、夏の朝に広場の木陰で朝刊を読んだり、鳥や植物の観察会、愛護会が開催するイベント(切った竹で流しそうめんやバームクーヘンづくりなど)に参加したりと、色々な楽しみ方があります。市主催の森づくり体験会に参加してみても良いかもしれません。まずは、お住まいの近くの市民の森を探して、公園とひと味違う市民の森を楽しんでみてください!

### 市民の森ではフィールド マナーを守りましょう!



道からは  
はずれない



生きものを  
持ち帰らない  
持ち込まない



ごみタバコ等は  
捨てずに  
持ち帰る



利用時間は  
日の出から  
日没まで



火・コンロは  
使わない



ペットは  
つないで

### ここにみどり税

市民の森の整備や維持管理、愛護会・森づくり活動団体の支援、保全管理計画づくりなどに横浜みどり税が使われています。



横浜みどりアップ 葉っぴー



# 2020年4月オープン! 長津田宿市民の森

おのたちらくがん  
長津田十景\*のひとつ「御野立落雁」すぐ近くにある約3.0 haの森で、日々の散策や自然観察、憩いの場として利用できるエリアと、斜面緑地を保全する樹林保護区(非公開)とがあります。  
目を引くのは森の中央にある、まるでステージのような、緩やかな斜面を持った広場です。かつて耕作が行われていた場所を生かして整備されました。



**所在** 横浜市緑区長津田町 2365-2

**アクセス** JR横濱線・東急田園都市線長津田駅  
南口より徒歩10分  
(駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用ください。)

長津田宿  
市民の森の  
マップはこちら!



※長津田十景  
詳しくはこちら!



## 市民推進会議広報誌・バックナンバー公開中!



市民推進会議広報誌のバックナンバーを横浜市のHPで公開しています。市民の森をレポートしたバックナンバーもあるので、ぜひアクセスしてみてください!

詳しくはこちら!



### 横浜みどりアップ計画とは?

緑豊かな環境を将来に残すために、市民の皆さんと一緒に緑を守り、つくり、育てていく計画。財源の一部として、「横浜みどり税」を活用しています。

### 横浜みどりアップ計画 市民推進会議とは?

横浜みどりアップ計画について評価、提案、市民への情報提供をする、市民参加の組織です。

### Yokohama

### みどりアップActionとは?

みどりアップの現場を市民目線でレポートし、その場へ「行ってみよう」「見つけてみよう」と思えるような緑の魅力をお伝えします。私たち市民委員と一緒に緑のAction(行動・活動)を起こしましょう!!

※令和元年度に「みどりアップQ」からリニューアルしました。

市民推進会議広報誌



### ご意見・ご感想を お待ちしております!

みどりアップActionについて、ご意見・ご感想、取り上げてほしい特集テーマなどのご要望をお待ちしています。いただきましたご意見・ご要望は、今後の発行の参考にさせていただきます。

詳しくはこちら!



### YokohamaみどりアップAction 第4号

(旧みどりアップQ)(市民推進会議広報誌第39号)令和3年3月発行

編集:横浜みどりアップ計画市民推進会議 広報・見える化部会  
発行:横浜みどりアップ計画市民推進会議事務局

### 問合せ

横浜市環境創造局政策課(事務局)  
TEL:045-671-4214 FAX:045-550-4093  
E-mail:ks-mimiplan@city.yokohama.jp





横浜みどりアップ 葉っぴー